

事故などの後遺症で「高次脳機能障害」を抱えている方、その家族の方、一人で悩んでいませんか？

同じような体験をした仲間が集まり、語り合きましょう。

「安心して集まる場が欲しい」「少しの時間だけかもしれないけれど一息つこう」

そんな思いからスタートしました。



## 6月19日 定例会

この日は、当事者名 10、支援者 4 名が参加し、近況報告などを行いました。

支援者 A：今日は本当に久しぶりの開催となりました。本日、理事長は諸事情により欠席していますが、5月6日～8日にかけて、滋賀県で開催された「アメニティーフォーラム 25」における、高次脳機能障害支援法についての意見交換を経て、6月15日に自民党障害児者問題調査会に、「高次脳機能障害者支援に関するプロジェクトチーム」を設置いただけることになりました。高次脳機能障害支援法成立に向け、着実に準備が進められています。今後進展がありましたら、またこの場やつうしんを通してご報告させて頂きたいと思います。

定例会がお休みの間、皆さんはどう過ごされておりましたか？初めて参加される方もいらっしゃるので、まずは順番に自己紹介からお願いします。

当事者 A：私は 20 年くらい前にバイクで事故をしました。退院後に元々務めていた会社に戻りましたが、やっぱり何かおかしいという状態がずっと続いていました。最近になって自分の障害が高次脳機能障害だということがわかり、職場を退職した後は B 型事業所に通っています。皆さん、よろしくお願いします。

当事者 B：2019 年に脳出血を発症し、救急病院に搬送されました。年齢は 40 歳代後半です。よろしくお願いします。

当事者 C：2013 年にくも膜下出血を発症し、いろいろな仕事を転々とする中で、B 型事業所青い空でもお世話になったことがあります。よろしくお願いします。

当事者 D : 12 年前に県外で脳のケガをして、今は無職です。よろしくお願いします。

当事者 E : 脳腫瘍の手術の後に高次脳機能障害となり、今は B 型事業所に通っています。よろしくお願いします。

当事者 F : 約 2 年前に脳梗塞を発症し、約 1 年半前にこの家族会に初めてお邪魔し、それ以来久しぶりに参加させてもらっています。またよろしくお願いします。

当事者 G : 今年で事故にあって 26 年目になります。このメンバーの中では私が一番の古株になるかと思えます。今は障害者枠で掃除をする仕事に務めています。よろしくお願いします。

当事者 H : 15 年前、飲酒をしている最中に脳出血で倒れ、救急病院に搬送されてからはリハビリをもらいながら過ごしていました。今は、B 型事業所に通っています。少しずつですが、社会復帰していきたいと考えています。よろしくお願いします。

当事者 I : 12 年ほど前に脳梗塞になり、今は病院の障害者枠で仕事をさせてもらっています。今日は本当に久しぶりで、病院の警戒レベルが少し下がったためここに来ることができました。よろしくお願いします。

当事者 J : 約 6 年前、県外で一人暮らしをしているときに脳出血を起こしその後高次脳機能障害と診断されました。よろしくお願いします。

支援者 A : 皆さん、自己紹介頂きありがとうございました。今日はほんとうに久しぶりの定例会となります。それでは順番に近況報告をお願いします。

当事者 G : 障害年金の更新のための手続きを忘れてしまい、今年に入ってから年金が止まっている状況です。再申請の手続きができていれば 8 月頃から再開できるのではないかと考えています。ただ、ちゃんとまたもらえるようになるのか心配なので、手続きの方法等わかれば教えてください。

支援者 A : お構いなければ一度書類を持ってきてもらって、一緒に確認するようにしましょうか。年金の受給再開のために、僕たちがお手伝いできることがあれば何でもおっしゃってください。他の方でも様々な手続き等で困っている事があれば、遠慮なくおっしゃってくださいね。

当事者 H : 8 年間 B 型事業所で働いていますが、月に一回もらえる工賃では生活ができないので、今後どうしていこうか考えているところです。先日、高知市の障害福祉課が開催しているテレワークの講習会に参加してきました。テレワークなら通信環境さえ整えば自宅からでも働くことができると考えています。なんとか B 型事業所を卒業して他の仕事に就きたいと思っています。

支援者 A：Hさんは毎回定例会で次のステップに向けた取り組みをお話していただき、頑張っておられるなと思っています。テレワークの手応えはどうでしたか？

当事者 H：テレワークもできないことはないと思いましたが、他の職員と離れていることもあり、一人で働けるかどうか不安もあるので、できればテレワークではなく人と関わりながら高知で働ける仕事を探したいと思っています。

当事者 I：みんなと面と向かって話ができることはほんとにいいことだと感じています。今月の高知新聞の声ひろばに私が書いた原稿が掲載されました。そこにも書きましたが、先日、ウクライナで撮影された映画「ひまわり」を見てきました。映画を見ていて、やはり高次脳機能障害の影響なのか、映画の画面と字幕とを一緒に見ることはできませんでした。やっぱりそんな障害なのかなと思いました。ここに来た目的は、2年前にみんなで参加をした「リレーマラソン」への参加を提言するためです。皆さん、一緒に参加しませんか？

支援者 A：ありがとうございます。今年は皆さんで参加するようにしましょう。走ることができない方も、応援をよろしくをお願いします。

当事者 A：私は自分が高次脳機能障害という障害を持っていることを知らずに20年近く働いてきました。昨年末に職場を退職してからはB型事業所で働いていますが、金銭的にも苦しい側面があり早く仕事に就きたいと考えています。自分にあった仕事は何なのか、悩んでいるところです。

支援者 B：Aさんは以前していた車関係のお仕事に就きたいと思っていますか？それとも全く別のお仕事に就きたいと考えられていますか？

当事者 A：車関係の仕事は人の命に関わる仕事なので、できれば別の仕事に就きたいと思っています。車を運転することは好きなので、配送関係の仕事に就くことができればいいなと思っています。

当事者 B：1月にてんかんで入院をして、その後、身内の不幸がありました。この春には娘が家を出ていき、今は一人で生活をしています。Aさんが配送の仕事をしたと言われていましたが、私の経験からすると配送の仕事はなかなか難しいと思います。繁忙期には1日何百件も処理する必要があるので、記憶の障害があつたりするととてもむずかしい仕事だと思いました。また、普段の生活の中でも道に迷うことが多いので配送の仕事は難しいです。今は楽しみな事が全くありません。半盲の影響でテレビなども十分に見ることができないので、自宅では専らラジオを聞いています。

当事者 C：3月にピアサポーターの初任者研修を受けてきました。また、以前勤めていた仕事は辞め、現在はA型就労支援施設にて働いています。障害のある方のほとんどが聴覚障害のある方で、コミュニケーションのとり方について考えています。2-3ヶ月が経ちましたが最近は何となく相手の方が言いたい内容がわかるようになってきました。手話を覚えようともしていますが、高次脳機能障害の影響もあり、なかなか覚えられないです。

当事者 D：いつも私に電話をしてくださる人がおり、その一人が H さんです。人とコミュニケーションを取ることが苦手ですが、電話をしてきてくれるのでありがたいです。

当事者 E：普段は B 型事業所に通っています。今は一人暮らしをしています。今身体障害者手帳の更新の手続きをしており、年金事務所に行くように言われていたのは覚えています。なぜ年金事務所に行かなければいけないか覚えていません。

支援者 A：一緒に書類を確認しながら進めていきましょう。

当事者 F：最初はこちらにお邪魔したときは杖を使っていました。今は杖無しで独立歩行ができています。私も軽度ですが半側空間無視という障害が残っていて車の運転はできない状態です。仕事に関しても、今年の後半あたりから少しずつリスタートして行けたらと考えています。他者から見ると障害があるように見えませんが、自分としてはくっきり、はっきり見えていたものが見えていないというもどかしさがあります。

当事者 J：次の仕事をどうしようか悩んでいます。友人を介して紹介される仕事等もありますがなかなか前には進んでいない状況です。

支援者 A：また家族会に顔を出して近況を報告してください。



## 6月11日 女子会

6月11日にzoom ミーティングを開催しました。参加メンバーは10名でした。

自己紹介と近況報告では、コロナとその後遺症状（だれでもどこでも体験する可能性あり）や、鈴木大介氏の著書を紹介し「不具合さを、自分と重ねて再発見があります」と、共感したり参考になるということ。新聞への投稿に励んでいる方もいます！

次の話題は、職場のコミュニケーションについて。「職場では、口頭で指示を伝えられる。これまでやってきたけれど、文書化してくれると分かりやすい」それは、「会話だと、指示だけでなく世間話が入るので、自分に必要な情報を選択しにくい」こと、「一度に複数のことを指示されると、次にすることを思い出しにくい」ことによります。「マニュアルがあると、いちいち人に聞かなくてよくなると思う」「発信する側が、大事なことをさび分けて提供することが重要だと言われるようになっている」「できないと、やっぱり障害か、と言われるような気がして言いにくい」などの意見が出されました。

それぞれの立場で、できることを踏ん張っていきましょう。同じ空間を共有する日を楽しみに♡

次回の予定は、2022年7月9日（土） 10時～12時

オンラインの情報を送りますので、初めて参加を希望される方は和田までご連絡ください。

電話：090-3186-6701 メール：sumi980214@yahoo.co.jp



## 当事者・家族の会 ご案内

**月例会ご案内** 日時：2022年7月17日（日） 午前10時～

場所：青い空（参加費：無料）

連絡・相談窓口：NPO法人 脳損傷友の会高知 青い空

就労継続支援B型事業所 青い空(平日 9:30～17:00)

〒780-8014 高知市塩屋崎町 2 丁目 12-42

Tel : 088-803-4100 Fax : 088-803-4420

青い空携帯 : 090-9450-2990

E-mail : [npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp](mailto:npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp)

URL : <http://blue-sky-kochi.com/>

**女子会ご案内** 日時：2022年7月9日（土） 午前10時～

参加を希望される方は、和田あてに連絡ください

お問合せ：090-3186-6701（和田携帯）

**つどい処ご案内** 日時：2022年7月23日（土） 午前10時～

場所：つどい処

お問合せ：0889-52-2880（つどい処）



## 当事者・家族の会 入会のご案内

「NPO 法人 脳損傷友の会高知 青い空」は、事故や病気で脳を損傷し、その後遺症として高次脳機能障害をもつ当事者および家族に対して、高次脳機能障害についての正しい知識や情報の提供および社会参加を促進するための事業等を行うことで、当事者の日中活動の場を確保し、当事者・家族が安心して生活できる環境を整え、併せて社会の理解を得るための活動を行うことを目的に設立されました。

当会の趣旨、活動にご賛同いただける当事者・ご家族の皆様、市民の皆様、医療・福祉分野で、ご関係のある個人又は団体の皆様、どうか正会員または賛助会員としてご支援いただければありがたく存じます。

・入会金：10,000円（正会員のみ） ・正会員年会費：5,000円 ・賛助会員会費：3,000円  
NPO 法人 脳損傷友の会高知 青い空 〒780-8014 高知県高知市塩屋崎町 2 丁目 12-42

TEL : 088-803-4100 FAX : 088-803-4420

E-mail : [npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp](mailto:npo-aoisora@snow.ocn.ne.jp)

URL : <http://blue-sky-kochi.com/>